

ビワ生育情報

千葉県
平成26年6月号

平成26年5月の気象

平成26年5月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、平年に比べ第1、第3、第4及び第6半旬では0.5~1.4℃高く推移したが、第2及び第5半旬では0.5~1.0℃下回った。月平均気温は18.1℃で、平年及び前年より0.4℃高かった。

降水量は、第1~第4半旬で平年を下回り、第2半旬は降雨がなかった。月合計は162mmで、平年より15mm(8%)少なく、前年より53mm(49%)多かった。

日照時間は、すべての半旬で平年を上回った。月合計は248時間で、平年より62時間(33%)、前年より27時間(12%)多かった。

表1 平成26年5月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	17.5	16.5	13.6	8	23	16	38	30	40
2	16.3	17.3	16.4	0	24	0	44	30	55
3	17.8	17.3	18.4	29	41	53	36	30	36
4	18.4	17.9	17.9	8	24	24	54	30	34
5	17.8	18.3	19.3	59	32	0	33	31	34
6	20.2	18.8	19.9	58	34	17	45	36	20
平均/計	18.1	17.7	17.7	162	177	109	248	186	221

7月の作業(果実の発育は次ページ)

7月に入ると梅雨も明け、本格的な夏を迎える。収穫後に弱っていた樹は勢いを取り戻し、夏枝の伸長が盛んであるが、根の伸びは鈍くなる。7月の作業は夏の乾燥期に向けて草刈り、敷き草、カミキリムシの防除がある。

草刈り

梅雨明け時期に園内の草刈りを行う。高温乾燥期に草を生やしておくこと、草に水分がとられ、土は乾燥状態になりやすい。土が乾燥すると花着きはよくなるが、過度の乾燥は樹を弱らせる。草刈りを行い、土の乾燥防止のために刈り草は樹冠下に敷く。

カミキリムシの防除

カミキリムシはリンゴ、イチジク、クワ、ビワなどを加害する枝幹害虫で、ビワに寄生するカミキリムシはクワカミキリが多い。体長は4cm位、体は黒色地に暗黄色の短毛が密生している。幼虫は枝幹中に食入し、木質部を食べて育ち、枝の中心部を食い荒らすため、食害を受けた枝は折れやすくなり、甚だしい場合には枯死する。また食入部の傷口からがんしゅ病が感染することがあるので注意を要する。成虫は産卵のために、7~8月に現れるので、朝夕の活動の鈍いときに捕殺する。幼虫は食入穴から虫糞を出しているの簡単に見つけることができるため、穴から針金などを入れてつき殺す。卵は見つけ次第つぶす。

果実の発育

6月1日現在のビワの果径は表2に示した。横径は、「楠」では4.36cm、「大房」及び「田中」では3地区の平均でみるとそれぞれ4.95cm、4.34cmであった。本年の横径は、「大房」は平年並みで、「楠」及び「田中」は平年よりやや小さかった。

縦径は、「楠」では4.73cm、「大房」及び「田中」では3地区の平均でそれぞれ5.17cm、4.97cmであった。本年の縦径は3品種共に平年並みであった。

果形指数は、「楠」では0.92、「大房」及び「田中」では3地区の平均でそれぞれ0.96、0.87であった。果形は「楠」及び「大房」は平年並みで、「田中」は平年よりやや縦長傾向であった。

着色程度は「楠」が3.2、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ2.9、1.7で、平年に比べ「楠」は進み、「大房」及び「田中」は平年並みである。肥大が十分でない果実も着色が進んでいるため、収穫期の見極めには十分注意する。

暖地園芸研究所では早生品種の収穫は5月中下旬から始まり、「楠」の収穫は6月2日に始まったが、「大房」及び「田中」は収穫には至っていない。本年は気温差が激しい日が多く、3品種共に圃場あるいは樹体内で着色程度に差がみられるため、適期収穫に注意する。

本年は平年に比べ、着花房率が高く、寒害及びクワゴマダラヒトリの被害は少なかったが、がんしゅ病の発生が一部でみられ、果樹カメムシ類の被害は一昨年ほどではないが、平年より多い。最終的な収量は、収穫が早い園では平年並みだが、遅い園では果樹カメムシ類の被害を受け、平年よりやや少ないと予想される。

本年の果樹カメムシ類の発生は、南房総市ほか県南地域で平年より多く、今後の発生も多い見通しであるため、カメムシの発生の多い園では、飛来に注意を要し、薬剤防除に取り組む。防除に際しては千葉県農作物病虫害雑草防除指針に従う。

表2 果実の発育（6月1日の果径）

品 種	調 査 地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数			着色程度		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	4.36	4.44	4.34	4.73	4.77	4.70	0.92	0.93	0.93	3.2	3.0	3.6
	青 木	4.86	4.98	4.71	5.12	5.10	4.74	0.95	0.98	0.99	2.8	2.9	3.2
	大房 南無谷	4.92	4.98	4.93	5.12	5.13	5.22	0.96	0.97	0.94	3.1	3.0	3.1
	暖地園研	5.06	5.03	5.04	5.27	5.09	5.44	0.96	0.98	0.93	2.9	2.8	2.4
	平 均	4.95	4.97	4.89	5.17	5.10	5.13	0.96	0.98	0.95	2.9	2.9	2.9
田 中	青 木	4.13	4.43	4.37	4.88	4.91	4.83	0.85	0.90	0.90	1.5	1.6	1.7
	南無谷	4.31	4.35	4.35	4.94	4.84	5.02	0.87	0.90	0.87	1.5	1.6	1.8
	暖地園研	4.57	4.49	4.55	5.08	4.93	4.92	0.90	0.91	0.92	2.2	1.5	1.8
	平 均	4.34	4.43	4.42	4.97	4.90	4.92	0.87	0.91	0.90	1.7	1.6	1.8

果形指数：横径／縦径

着色程度：1(未着色)、2(黄白色)、3(淡橙黄色)、4(橙黄色)、5(濃橙黄色)

平年：1986年～2013年の28年間の平均、ただし着色程度は1999年～2013年の15年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>